

— 会 議 報 告 —

運 営 委 員 会 会 議

昭和48年7月2日(月)

1. 人事について

宇野昌子の代りに長谷川由美子を採用した旨報告があった。

2. 4～6月の利用状況について

時間外受付を5月から行なっているのに、そのためか不明であるが、一昨年度同期に比較して処理件数が多くなり、昨年度は約2,400件、一昨年度は約2,200件に比して、今年度は約3,800件となり昨年度に比して5割増の処理件数となった。ただし使用料金は60円/分と昨年比して20円安くなったのであまり増加していない。またモニタテレビ(FORTRAN等のカセット使用)の利用も多く、とくに金曜日は、毎週使用している。

次にFORTRAN講習会の第1回目は7月11～13日に実施され受講人員は81名であり、第2回は、9月6・7日に実施するが68名の申込みがあった。

3. 北陸地区計算機センター(概算要求)について

脊野委員から日本学術会議の案(政府への勧告)についての説明と、平井委員が文部省の考え方につき説明があった。この両者から今年度に入って、設置についてある程度の希望がもてるようになった。

4. 特定研究について

武部調査委員長から特定研究「高域大量情報の高次処理」についての説明があった。

連絡委員・プログラム相談員合同会議

昭和48年7月18日(水)

1. 7月2日の運営委員会の報告があった。

2. 大型センターのこれまでの状況報告があった

3. 紙テーブリーダの6単位、8単位の併用について、ハード的に改良する旨報告があった。

4. 計算単位について意見の交換があり、現行通りとすることになった。

5. B \bar{O} S-2の使用時間帯につき意見の交換があり、今までの11時までというのをやめB \bar{O} S-2は、朝9時よりB \bar{O} S-2の計算がかかっている間受付けることになった。

6. オープン使用について要望があり意見の交換があった。

7. \bar{O} U \bar{T} P \bar{U} Tの紙代について意見の交換があった。これについてセンターで今年度中にデータを集収し、運営委員会に計ることになった。

運 営 委 員 会 会 議

昭和48年9月8日(土)

1. 報告事項

(1) 補助金 事務局より250万円、工学部より122万円、文部省より保守費として360万円

(2) 今年度(4月～8月分)の計算機の稼働時間等の報告があり、昨年同期の約5割増である。

(3) 紙テーブリーダの6・8単位の併用について工作センターで改良済み、試験調整後に正式使用する。

(4) カードパンチ機1台が10月中旬に入る予定。

(5) 連絡委員・相談員合同会議(7月18日)の報告があった。

2. 協議事項

- (1) 時間外人事については選考その他を平井委員に一任することとなった。
- (2) 理学部分室の計算機が使用不能になったので、大型機のターミナル用（またはデバック用）として計算機の導入を交渉する。なおVTRについても3台（理・教養・医学部キャンパスに各一台）も交渉することとなった。
- (3) 計算機センター概要について辻広報委員長より説明があり、一部変更の上承認された。
- (4) 電気、通信、テレビ学会北陸支部、計算機センター共催の情報科学に関する講習会について武部調査委員長より説明があった。11月上旬工学部で開催の予定である。
- (5) LP用紙の打ち切りについては連絡委員会で検討することを依頼した。
- (6) 今年度の予算については、水上経理係長に具体案の作製を依頼し、次回の委員会に提出10月に入るカード穿孔機の取り扱いはその際に検討する。

連絡委員・プログラム相談員合同会議

昭和48年9月10日（月）

1. 9月8日の運営委員会の報告

2. 協議事項

- (1) LP用紙の紙代について 1件あたり300枚以上の出力がある場合は300枚を超過した分の紙代の実費を徴収することをできれば10月から実施することになった。なお紙数についても調査することがきまった。
- (2) カードパンチ機について 10月に入るものは教職員優先とし、学生実習については、紙テープにしてはという要望があり、来年度検討することになった。
- (3) 夜間受付について 9月末までは現行通り午後7時まで、10月から11月末までは午後8時までとすることになった。
- (4) B \bar{O} S-2の時間帯について 定期保守日でない水曜日は月火・木金と同様に実施し、定期保守日と土曜日はB \bar{O} Sのみとする。なおB \bar{O} S-2とB \bar{O} Sの件数については、調査することがきまった。
- (5) 会議の電話連絡について 通知書の下部に出席の欄を作り、各委員はその欄に出席を記載してセンターまで返事する。そして当日出席予定者のみに電話連絡することを次回より実施することになった。